

意見の整理(案)

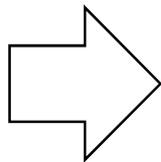
第1～3回高速道路ナンバリング検討委員会における主な意見①

1. 高速道路ナンバリングの検討の進め方について

- ・断固実現するため、内容の完全性よりも、実現することを最優先とすべきではないか。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、比較的短期間で、労力を含め、費用を最小に済むようなもので、みんなが喜んでくれるような方法を見つけるということがミッションではないか。
- ・現状改変を最小で済ますことを基本に置くべきではないか。
- ・ナンバリングは自動走行を見据えた新しい時代のコンセプトで考えるべきではないか。

2. 高速道路ナンバリングの対象路線について

- ・全国津々浦々まで番号がある方が親切ではないか。
- ・途中に広島岩国道路を挟む山陽道や九州道・大分道・長崎道に接続する鳥栖JCTにおける案内は、新たな路線番号による案内でわかりやすくなる。



「実現性を最優先」とし、高速道路ナンバリングの検討をすすめてはどうか。

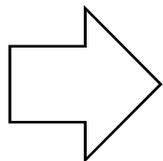
第1～3回高速道路ナンバリング検討委員会における主な意見②

3. 高速道路ナンバリングの目標について

- ・ユーザフレンドリーで、わかりやすいことを重視すべきではないか。
- ・数字の桁数を少なくし、シンプルにすべきではないか。

4. 高速道路ナンバリングの方法について

- ・日本のユーザが使いやすい、なじみのある国道番号に近いものがよいのではないか。
- ・国土観のある2桁までの国道番号に合わせることに配慮すべきではないか。
- ・並行している国道と高速道路は、同じ路線番号として、代替性を表現してはどうか。
- ・国道1号などは、東名高速はE1号、新東名はE1S号というように、ファミリーとして位置づけてはどうか。
- ・NEXCO等の管理する高速道路と首都高等の都市高速は英字で区別し、案内に混乱が起きないようにしてはどうか。
- ・環状道路は、区別して表現すべきではないか。



「シンプルでわかりやすく」、「親しみ」の観点で、ナンバリングルールを定めてはどうか。

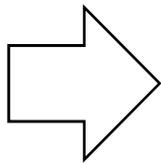
第1～3回高速道路ナンバリング検討委員会における主な意見③

5. 路線番号を表示する案内標識のデザインについて

- ・意味だけが伝われば十分ではなく、イメージも重要視するべきではないか。
- ・デザインは、現状の標識やカーナビ等で使えるような条件で、汎用性が広いものを探り出すべきではないか。

6. 施設(IC・JCT等)のナンバリングについて

- ・IC・JCT・SA・PAなどの複雑な名称をナンバリングでわかりやすくしてはどうか。
- ・SA・PAは、出口との誤解を招かないようにナンバリングを実施しない方がよいのではないか。

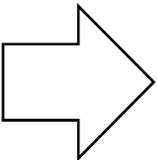


新たな標識のデザインはどうあるべきか。
IC・JCT等のナンバリングルールはどうあるべきか。
SA・PAのナンバリングを実施すべきか。

第1～3回高速道路ナンバリング検討委員会における主な意見④

7. 地図・カーナビ、インターネット等における路線番号の活用について

- ・番号で全部つながっている道路の日本地図は、訪日外国人の地方誘客における重要な情報インフラとなるのではないか。
- ・海外の旅行会社やレンタカー会社への情報提供を考えるべきではないか。
- ・インターネット・カーナビの経路案内において、路線番号でたどれるようにしていくことができれば、役に立つのではないか。
- ・活用を進めるため、路線・施設番号の体系(枝番の有無や桁の上限等)が予め決まっているべきではないか。
- ・路線番号を音声で案内する場合の利用者の混乱を避けるため、読み方が統一されるよう、ガイドラインを策定すべきではないか。
- ・観光地周遊を促進するために高速道路ナンバリングを活用してはどうか。

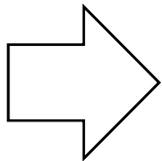


道路管理者による標識や情報板における表示に加え、ドライバー、地図、カーナビ、旅行、レンタカー等に関わる事業者等に、ナンバリングの体系等に係る情報を積極的に提供すべきではないか。

第1～3回高速道路ナンバリング検討委員会における主な意見⑤

8. その他について

- ・JCT等における案内で、同一番号の路線に分岐する場合は、東西南北、上り下りなどを表示することを検討すべきではないか。
- ・高速道路の路線番号と既存の路線名称は併用して表示すべきではないか。
- ・空港など主要な目的地に向けて、連続的な案内を徹底すべきではないか。
- ・JCTの分岐の手前において、路線名による案内がされているが、路線は通過地点のため、わかりにくい。方面について、なじみのある地名などにより、わかりやすく案内すべきではないか。
- ・正しい方向に進んでいることが確認できる標識を設置すべきではないか。



高速道路ナンバリングの実施に加え、さらなる道案内の改善を検討する必要があるのではないか。